

登米市の8頭が全国和牛能力共進会へ

第9回全国和牛能力共進会（10月11～14日・鳥取県）へ出品される和牛の宮城県最終選考会が7月6日、みやぎ総合家畜市場（美里町）で開かれ、市内から8頭が選考されました。この大会は、全国の優秀な和牛（黒毛和種牛）が5年に1回、一堂に会して優劣を競うもので、「和牛のオリンピック」とも称される大会です。市から選考された8頭は、各都道府県から選考された和牛と各部門で頂点を競い合います。出場者については次のとおりです（敬称略）。

- 第7区（総合評価種牛群）※種牛＝糸安平**
 登米和牛育種組合 船島 一芳（中田） 佐藤 義浩（登米）
 佐々木昌典（豊里） 高橋 健一（南方）
- 第7区（総合評価肉牛群）※種牛＝糸安平**
 登米和牛育種組合 千葉英軍司（中田） 千葉 敏（豊里）
 佐瀬 徳（南方）
- 第9区（去勢肥育牛）※種牛＝奥北茂**
 千葉 正憲（登米）



第7区（総合評価種牛群）に選考された佐々木さん、船島さん、佐藤さん、高橋さん（左から）

移動市長室を 実施しています

市が平成18年度から実施している「移動市長室（どこでも市長室）」がこれまで18回開催して、地域で活動している農林業・ボランティア団体などから62団体が参加し、223人の市民皆さんから、さまざまな意見をいただきました。その移動市長室が今年6月に9地区を2巡したことから、7月からは「移動市長室」現場シリーズ」と題し新たな内容で実施。参加団体が活動している「現場」へ市長が直接

出向いて、その「現場」の状況を確認しながら、意見交換を行っています。

【移動市長室】
第1回現場シリーズ
 農地・水・環境関連事業として、「生き物調査」が7月21日、迫町新田茂栗地区で行われ、同地区の世帯員で構成する「茂栗ふるさと保全隊」約30人が参加しました。講師に小牛田農林高校の河野真人教諭を迎え、同地区の



①水田で見つけたタニシについて説明する河野教諭②水田にはさまざまな種類のカエルやクモなどが生息③布施市長も微生物に関心を示していました【以上第1回現場シリーズ】④重度の障害児を育てる親から、現状の生活環境や市に対しての要望事項がありました【第2回現場シリーズ】

第2回現場シリーズ
 8月21日、市役所南方庁舎で、重度障害児の親の会「アドバンスゴー」の会員と、福祉や医療についての意見交換が行われました。市内の障害者福祉施設の充実や医療費支払い問題など、さまざまな要望がありました。

水田や周辺水路を調査し、伊豆沼周辺の生態系を学習しました。また、事業について市長とあざ道談話も行いました。

新潟県中越沖地震、被災地柏崎市へ災害支援 ～義援金送金・職員派遣～

7月16日午前10時13分ころ、新潟県上中越沖を震源とするマグニチュード6.8・最大震度6強の地震「平成19年新潟県中越沖地震」が発生しました。これにより、新潟県柏崎市・刈羽村を中心に、家屋の倒壊や火災などによる人的被害（死者・負傷者・行方不明者）の発生、高速道・一般道・鉄道などの交通機関の不通、電気・ガス・水道・電話などのライフラインが寸断となるなど、甚大な被害が出ました。市では、登米市職員互助会が市職員に善意を募ったところ、会員をはじめ非常勤職員、臨時職員1,703人から995,683円の義援金が寄せられ、河北新報社、新潟県を通じて被災地へ届けられました。また、柏崎市からの要請により、職員12人を8月3日から2回に分けて6人ずつ被災地へ派遣。それぞれ8日間滞在し、避難所の活動支援などを行いました。



④柏崎市の避難所で、炊き出しや物資の運搬などの救援活動を行う登米市の派遣職員⑤市役所迫庁舎前で行われた出発式

市中学校駅伝競走大会 交通規制のお知らせ

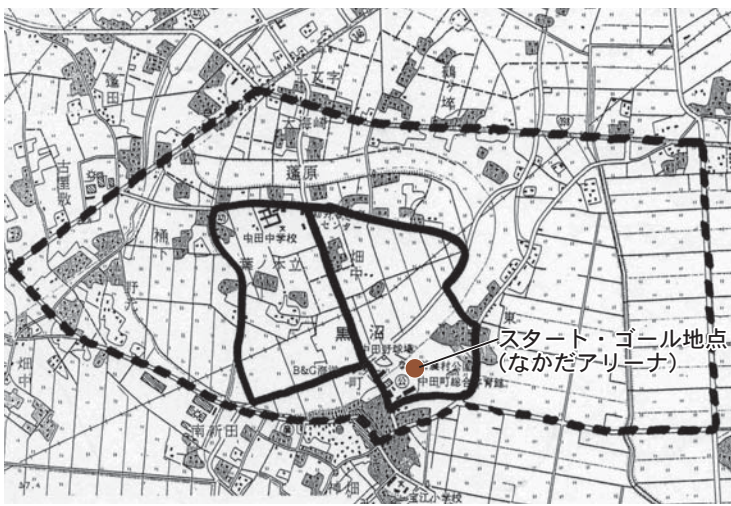
市中学校駅伝競走大会が9月11日、中田町を会場に開催されます。

レースの発着は「なかだアリーナ」で、地図に記した区間がコースとなるため、当日は交通規制が行われます。

コース付近をお通りの際は、十分にご注意ください。

また、大会当日は選手への声援をよろしく願います。

【大会日時】9月11日（火）
 午前9時～午後0時20分
 ○女子 9時30分スタート



- 男子 11時スタート
- ※雨天決行。台風などの荒天時には順延となります。
- 【スタート・ゴール】なかだアリーナ
- 【交通規制箇所】地図のとおり
- コース
- 迂回路
- ※午前9時から午後0時20分までは、コース内に車両は入れません。迂回路をお通りください。
- 【問い合わせ】佐沼中学校 0220(22)2760